

その他の製造業－その他における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	11~12	コンテナ車内での作業中、ピート原料ケース（20kg～25kg）を自分の背丈ほどの場所から下ろす作業を行っている際、ピート原料ケースが頭上より落下し首に当たり負傷した。	66～49	30
2	17~18	工場内旋盤（NLX2500Y/1250）でワークの内径加工の段取り中、φ25内径のバイトでφ39下穴をX-2から加工している時、機械の扉を半開きにしていたことと、ワークの掴みしろが少なかったことにより爪からワークが外れ飛んできたワークが腰に当たり左の骨盤を骨折した。	28～99	50
3	14~15	1F4号機の清掃中、シフターの止め具のナットをきつく締めすぎてレバーが固定出来ない状態となり、反動で跳ね返った際に外れたバンドが口元に当たり、唇の上辺りが切れてしまった。	38～99	50
5	10~11	フッ素樹脂製（円筒形、約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、作業台の上でポンプを向こう側に90度回転させた際に、作業台の端に転んだ為、転げ落ちてきた。両腕で抱え込んだが重さに耐え切れず、しゃがんだ状態になり、太ももにポンプが当たり打撲した。	40～299	100
7	8~9	会社内のコンテナ用プラットホームに載せてあったアップライトピアノが落ちてしまいプラットホーム下で作業していた被災者が落ちてきたピアノの下敷きになった。ピアノはプラットホーム上でフォークリフトの操作ミスにより、下に落下。	54～29	10
7	10~11	会社内の工場では材料のエポキシ樹脂（縦20cm×横30cm×厚1cm・重量約4kg）を工作機械で左側を固定し左手を添え削っている時樹脂のため材料が滑ってしまい材料が飛んでしまった。その時材料が左手の手のひらあたりに当たってしまい負	23	1～9

		傷した。		
7	10～ 11	朝、工場のシャッターを開けたところ滑ってしまい、モーターが利かず二の腕辺りにシャッターが落ちて来た。最初は大した事はないと思っていたが、だんだん痛みが出てきて、内出血もしていた。	47	1～ 9
7	13～ 14	トンネル工事現場へ生コンクリートを運搬し、荷卸待機をしていた。先行の運搬車の荷卸し終了後、セントル内の生コンクリートを送り出す配管内を洗浄するため、配管末尾にトンバック（コンクリート飛散防止用具）を接続し、現場作業員がセントル内から圧力をかけていた。その際、配管内が詰まっていたため配管内の圧力が通常より上がり、詰まっていた残留物が勢いよく排出され、車を降りて同僚車輻の生コンクリート状況を確認していた被災者に、飛散したコンクリートの粗骨材が直撃し、負傷した。	65	10～ 29
9	16～ 17	工場内出荷置場で出荷材料準備中、パレット積材料タンクを専用の器具を使わずに手で積み替え作業を行った際、材料タンクが誤ってパレットより外れ、足先に接触して負傷したものである。	33	10～ 29
10	11～ 12	弊社構内のビニールハウスのビニール張り替え後の手直し作業中、ハウス内の高さ180cmくらいにある換気扇（縦1m×横1m）周りのビニールの張り具合を調節しているとき、ファンカバーの針金部を留めてある溶接部分が劣化のため、たまたま一本外れ、その際はじかれた針金が左拇指爪の下部にあたり負傷した。	65	1～ 9
12	13～14	中古車販売センター内にて、看板を設置するためクレーンで吊り上げている途中に、地上より1m位の所で突風に煽られ、吊りワイヤーが切れ、看板が落下した際に、誘導者が看板の下に足を挟んだ。	44	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html